

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

理科

科目

科学と人間生活

教科：理科 科目：科学と人間生活

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

使用教科書：（183 第一 科人183-901 高等学校 改訂 科学と人間生活）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】日常生活と社会に関わりの深い自然の事物・現象や科学技術において基本的な知識や技能を定着させる。

【思考力、判断力、表現力等】観察や実験を通じて、人間生活と関連づけて科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自ら学ぶ意欲を高め、基本的な科学的素養を養い、自然や科学技術への関心を広げる。

科目 科学と人間生活 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然と人間生活との関わりおよび科学技術と人間生活の関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、人間生活と関連づけて科学的に探究する力を養う。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	第1章 物質の科学 第1節 材料とその利用 【知識及び技能】金属についての基本的な知識や実験などの技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】実験を通じて結果を適切に判断し考察することができる。人間生活と関連づけて科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】実験を安全管理に留意し、積極的に授業に取り組もうとする姿勢を養う。	第1章 物質の科学 第1節 材料とその利用 ⑤金属と人間生活 ⑥金属とその製錬 (1) ⑦金属とその製錬 (2) ⑧金属のさびと合金 ⑨資源の再利用 (1) ⑩資源の再利用 (2) ・教材 教科書 ワーク プリント ・生徒実験、教室での授業	【知識・技能】金属の種類と性質について理解することができる。金属の再利用に関して理解することができる。 【思考・判断・表現】金属・合金の種類によって、取り扱いを決定することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】金属の種類、性質および用途、について調べようとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	第1章 物質の科学 第1節 材料とその利用 【知識及び技能】プラスチックについての基本的な知識や実験などの技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】実験を通じて結果を適切に判断し考察することができる。人間生活と関連づけて科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】実験を安全管理に留意し、積極的に授業に取り組もうとする姿勢を養う。	第1章 物質の科学 第1節 材料とその利用 ①プラスチックの特徴 ②プラスチックの分類と用途 (1) ③プラスチックの分類と用途 (2) ④さまざまなプラスチック ・教材 教科書 ワーク プリント ・生徒実験、教室での授業	【知識・技能】プラスチックの種類と性質について理解することができる。 【思考・判断・表現】プラスチックの種類と製品について調べ、プラスチックの種類からプラスチックの取り扱いを決定することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】プラスチックの種類、性質および用途、について調べようとする。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
1 学 期	第1章 物質の科学 第2節 衣料と食品 【知識及び技能】衣料についての基本的な知識や実験などの技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】実験を通じて結果を適切に判断し考察することができる。人間生活と関連づけて科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】実験を安全管理に留意し、積極的に授業に取り組もうとする姿勢を養う。	第1章 物質の科学 第2節 衣料と食品 ①身近な繊維 ②繊維の構造と染色 ③天然繊維 ④化学繊維 ・教材 教科書 ワーク プリント ・生徒実験、教室での授業	【知識・技能】繊維を構成する物質の種類と分類、それぞれの性質、染料と洗剤のしくみについて理解することができる。 【思考・判断・表現】繊維・染料と洗剤の種類と分類、性質について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】繊維・染料と洗剤の種類、性質および用途について調べようとする。染料や洗剤の性質、はたらきについて振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	第1章 物質の科学 第2節 衣料と食品 【知識及び技能】衣料についての基本的な知識や実験などの技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】実験を通じて結果を適切に判断し考察することができる。人間生活と関連づけて科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】実験を安全管理に留意し、積極的に授業に取り組もうとする姿勢を養う。	第1章 物質の科学 第2節 衣料と食品 ⑤食品中のおもな栄養素 ⑥炭水化物 (1) ⑦炭水化物 (2) ⑧タンパク質 ⑨脂質 ⑩その他の栄養素 ・教材 教科書 ワーク プリント ・生徒実験、教室での授業	【知識・技能】5大栄養素の物質の種類と分類、それぞれの性質について理解することができる。 【思考・判断・表現】5大栄養素の種類と分類、性質について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】5大栄養素の種類、性質について調べようとする。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
1 学 期	第2章 生命の科学 第1節 ヒトの生命現象 【知識及び技能】ヒトの生命現象についての基本的な知識や観察などの技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】観察や実験を通じて結果を適切に判断し考察することができる。人間生活と関連づけて科学的に探究する力を養う。	第2章 生命の科学 第1節 ヒトの生命現象 ①タンパク質のはたらきと構造 ②遺伝子とDNA ③タンパク質の合成 ④血糖濃度の調節 ⑤血糖濃度と糖尿病 ⑥病原体の排除 (1) ⑦病原体の排除 (2) ⑧ヒトの視覚 (1)	【知識・技能】ヒトの生命現象に関する観察、実験などを行い、ヒトの生命現象を人間生活と関連付けて理解することができる。 【思考・判断・表現】ヒトの生命現象に関し、問題を見出し見通しをもって観察・実験などを行い、科学的に考察し表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】ヒトの生命現象について得た知識を日常生活や社会に生かそうとする。	○	○	○	8

